

丹波中学校だより 清流の辺

せい りゅう ほとり

平成29年1月19日(木)
NO.35
文責 丹波中学校校長 梶原勝由

2017(平成29)年 スタート 3学期は新年の誓いを実行に

2017年が始まってはや半月が経ちました。今年は「雲取山イヤー」だそうです。多くの登山客が訪れることと思います。

本校では1月16日(月)に3学期の始業式を行いました。全員が冬休み中に事故や

病気にならず元気に式を迎え、大きな声で校歌を歌い上げました。校長の話では、「新年の誓い」を実行するとともに、3学期は3年生を送る会や生徒総会などを通して上級生の顔(1年)・学校の顔(2年)になること、進路希望を実現し、学校に何かを残すこと(3年)を生徒にお願いしました。短い3学期ですが、生徒たちが一段と成長できるように指導・支援を職員一同行っていますので、よろしくお願い致します。



始業式後は、席書き。課題である「実現」(1年)、「春告げ鳥」(2年)、「青雲大志」(3年)を懸命にかつ表現豊かに書いていました。廊下に展示してありますので、お立ち寄りの際にはご覧ください。



国語力向上に向けて ～ 丹波中「R80」開始

全国学力・学習状況調査や中間テスト、期末テストを分析すると、生徒の弱点がはっきり見えてきました。それは、国語力(文章を読みこなす力、理解する力、文章を書く力)。そこで、3学期から朝読書の時間に週1回、R80(Rは、リフレクション(振り返り)と、リストラクチャー(再構築)のRです。80は、80字以内で書くという意味の80です。)を開始することにしました。

山梨日日新聞の「風林火山」を読み、そこには何が書かれているか、筆者は何を言いたいのかを書き、それに対し自分は「どう思ったか、考えたか」「これからどのように行動しようか」を自分の文章で80字以内で書きます。慣れてきたら接続詞を使って2文の80字以内で書きます。

このR80は教師も行い、生徒と教師の全文章を廊下に掲示します。他の人の文章を読んで表現の仕方を参考にして豊かな言語活動に結びつけていきたいと思ひます。



学業成就

今年も、廣瀬俊之さんが湯島天神の学業成就鉛筆をくださいました。ありがとうございました。始業式の日3年生に配りました。この鉛筆を使って答案を作成するはずですが、御利益が一杯あると固く信じています。また、学校からも修学旅行下見で拝観した北野天満宮のお守りを授けました。詳しくはホームページをご覧ください。



地域の方から学ぶ道徳③ ～UTYアナウンサー 小嶋優さん

1月18日(水)、3回目の地域の方から学ぶ道徳を開催しました。講師はUTYアナウンサーの小嶋優氏。講話の内容は、①中学生からアナウンサーを志望するまでの進路希望

の変化と実現に必要なだったこと、②アナウンサー(社会人)になって大変だったこと、それをどうやって克服したか、③今後挑戦したいこと等でした。話は巧みで生徒たちに発声の仕方やニュース原稿を読ませて伝え方も教えてくださいました。



「言葉は相手がいって成り立つ。相手に届かなければ意味がない。」「アナウンサーの仕事は代役がきかない。体調が悪くても任された番組はやらなければならない。」「百聞は一見にしかずで、多くの体験を」など心に残る話でした。



私の好きな一冊 「ランチのアッコちゃん」 柚木麻子著

丹波中の図書室においてあったこの

本。表紙の美味しそうなお弁当の写真に誘われるように手に取ったのがこの本との出会いである。初めはただなんとなく読んでいたが、段々と続きが気になり、一気に読んでしまった。そして、読み終えたときにはなぜだか、ふっ、と元気が湧いてきた。

冴えない毎日を送る派遣社員の澤田三智子は、ある日上司の黒川敦子、通称アッコさんから「私と、ランチを取り替えっこしましょう」と言われ、お弁当を作る代わりに、月曜日から金曜日、毎日アッコさんが指示した店で指示されたものを食べることを半ば強制的に約束させられてしまう……。日々の生活の基本は食生活にあり！そんなアッコさんの信条に振り回される三智子だが、次第にアッコさんの魅力に取り憑かれていく……。

謎のオーラに満ちたアッコさんが繰り広げる美味しく、誰もが幸せになれるそんなお話。是非一度読んでみてください。

きっとあなたも、元気で前向きな気持ちになれるはず……。 (文責:加々美しおり先生)